# ここにいま

平成２９年度西朝明中学校
学校通信　　第１３号
平 成 ３ ０ 年 ３ 月 ５ 日

いよいよ、義務教育最大の行事である、卒業証書授与式が近づいてきました。３年生の皆さんの卒業間際に、ちょっと振り返ってみようと思います。

**【学校の景観が変わりました。】**

この２年間で、随分と学校の様相が変わったことに気づいていますか？

① **渡り廊下の床面**の汚れがなくなり**床面の草**が減り（皆無にはなっていません）、**東西の壁**がきれいに塗り直されました。
　これは昨年の生徒会のボランティアでの活動でした。

渡り廊下のペンキ塗り

② **校歌の歌碑**がきれに塗り直されました。
　これは昨年の生徒会ボランティアと３年生の奉仕作業のおかげです。

③ **正門と東門と西門の門扉**が塗り直されました。
　これは本年の３年生の奉仕作業のおかげです。

④ **廊下や壁**の汚れが減りました。
　これも本年の３年生の奉仕作業でお世話になりました。

⑤ **北庭の除草・伐採**が進み、随分と風通しがよくなりました。
　これは、３年生の奉仕作業だけでなく、生徒会のボランティアやソフト部・サッカー部卓球部・野球部・剣道部の皆さんの協力を得て、していただいたものです。

⑥ **キュービクルの中**の除草・剪定・伐採をして、すっきりしました。
　これは、生徒会のボランティアやソフト部の活動で随分、助けてもらいました。ついでに生徒会のボランティアではどんぐり拾いを昨年は行い、幼稚園や保育園にお届けしました。キュービクル内の樫の木の剪定を昨年度末に行ったために、本年はどんぐりができず、園児の皆さんに拾ってもらうことができませんでした。

清掃ボランティア

⑦ **国旗掲揚台周辺の植栽**の剪定を行いました。
　これは、ソフト部やサッカー部の手助けをもらいました。

⑧ **プール**の除草や清掃、**プールの東側**の除草・剪定をしました。
　体育の授業やソフト部、ハンド部も助けてくれました。

⑨ **校地周辺**の除草・伐採・剪定を行いました。
　体育館の西側や武道場の西側だけでなく、何度も除草・剪定を繰り返して本日の校地の景観が保たれています。これまで紹介した各部だけでなく、ほとんどの部が何らかの関わりをもって作業してくれましたし、生徒会のボランティアも随分、頑張っていてくれました。また、３年生の奉仕作業でも取り組んでくれました。

⑩ **部室**の塗り直しをしてくれました。
　本年の３年生の奉仕作業でやってくれました。

⑪ **バックネット裏**の土の撤去に着手しました。
　これは、総量としてはまだ、半分にも届いていませんが、今後も続けて完全撤去まで行いたいものです。昨年・本年の３年生の奉仕作業や野球部・ソフト部・生徒会のボランティア等が、主に力を貸してくれました。また、地域の少年団の方が土の除去に助力をいただいたことも生徒の皆さんは知っておいてください。さらに、自治会の方が公園の凸凹を無くすためにバックネット裏から土を持っていってくださったことも忘れてはなりません。
　随分、活動してきて、まだまだ作業が必要ですが、腐って倒木の恐れがあって伐採した柳の木の跡も、排水を考えて土を除去してくれています。この土は、フェンスの柱の根元を埋めるためにも転用しました。

⑫ **カーテン**等の補修をしてくれました。
　本年の３年生の奉仕作業で、根気のいる細かい作業をしてくれました。

⑬ **校地にある石碑**（４つ）がきれいに磨かれました。
　昨年の３年生の奉仕作業でやってくれました。

他にもあるはずですが、振り返ってみてざっとあげるだけでこれだけのことを生徒の皆さんが

関わりを持って取り組んでくれたからこそ、今の学校の景観があります。

**【生徒会が企画しました。】**

校内でボランティアを募り、通常では定例となっていないことを運営しました。それが前述のいろいろな活動になっています。そして、熊本地震の被災地の西原中学校へ支援物資を送りました。その活動が評価されて県の奨励賞を受賞しました。

本年は、防犯＠西朝明として地域での啓発活動を実践し、県の優秀賞を受賞するとともに、四日市北警察署長から感謝状を頂戴しました。これらは、生徒会の企画・運営・実践ですが、それを支えたのは生徒の皆さん全員です。

被害に遭う例の実演

**【自主学習に励みました。】**

本年は、全学年で学習を習慣づけてもらうために「自主学習ノート」に取り組んでもらいました。１・２年と３年生では、顕彰の方法を変えましたが、それぞれの節目に努力賞・奨励賞・敢闘賞を設けて校長室で表彰し、さらに優秀賞・最優秀賞は全校生徒の前で表彰することにしました。下の表は、３月２日正午現在の表彰者の数です。これがまだまだ増えていくことを願っています。３年生は卒業の日までですが、１・２年生は修了式の当日まで可能です。今からでも取り組んで最後の追い込みをしてみてください。（詳細は、第４号（５／３０号）をご覧ください。）

| | 努力賞 | 奨励賞 | 敢闘賞 | 優秀賞 | 最優秀賞 |
|---|---|---|---|---|---|
| １年生 | ６４ | ４３ | ２４ | １７ | 7 |
| ２年生 | ６９ | ４１ | ２４ | 9 | 0 |
| ３年生 | ６５ | ５５ | ３３ | ３３ | ３２ |

**【学びたいむに取り組みました。】**

隔週１回、第７限を設定して、全生徒・全教員で取り組みました。全く初めての試みで、教材を作成していた先生方には、大変ご苦労をおかけしました。もともとつまずきを無くしていくための学習を確保することと、指導・確認を願ってのものですから、先生方の指導の時間がもう少し確保されないと、生徒の皆さんの学習に結びついていかないのかもしれません。となれば、１時間に取り組む問題量としては多すぎるということになって、問題数もより少なくしていかなければならないな、と思っています。保護者の方の学校評価の中にあったご意見も踏まえて、今後改善を加えていく必要があります。これが、先生たちの反省です。一方、学ぶ主体である生徒の皆さんは、４つのグループの中から自分に合ったレベルを選んでほしいと思います。１度取り組んでみて、「簡単だな」と思ったり、「ちょっと難しく感じるな」と思ったら、別のグループに移動してというように、自分にあったグループを試行錯誤で見つけてください。決して仲の良い友達と同じグループではなく、学習の定着は個人のものであるという認識にたって、せっかくの機会を無駄にしないようにしてください。

卒業していく３年生の皆さんをはじめ、生徒の皆さんが取り組んだ内容は、上の４つに留まりません。数知れず、沢山の足跡を残してくれたことと思います。卒業する３年生の皆さん、この３年間の振り返りは、どんな思い出がありますか？私はまだ着任して２年なので、皆さんの１年生の時のことがわからず、書き記すことができないのが残念です。でも、２年間でもこんなにあります。これから先、将来に向かってどんどん自分の道を切り拓いていってください。でも、その道は、どんな道なのか、どちらに向かっているのか、誰にもわからないのです。舗装されているのか、でこぼこ道か、曲りくねった道なのか真っ直ぐな道なのか、上り坂か下り坂か、という意味です。保護者の方は、まっすぐで平坦な舗装された道を歩んでほしいからアドバイスをくれます。そう思ったら、先人の言葉は全部、大切に聞こうと思えると思います。だから、誰からでも、いただくアドバイスは大事にしてください。

＊＊＊＊＊＊＊＊　　１・２年生の保護者の皆様へ　＊＊＊＊＊＊＊＊

次年度から、生徒の身分証明書をこれまでの紙ではなく、プラスチックのような、薄くて硬い１枚の物に替えます。お子様が新２・３年生になられましたら、配布させていただきますので、それを卒業まで使用していただくことになります。なお、費用が２５０円必要となりますが、教材費から支払わせていただきますので、ご了承ください。